

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(理数) 科目名(理数数学 I)(5)単位 (1)学年 履修規定(理数科必修)

担当者(木村 宏樹、久保田 元)

1. 教科書、副教材

| | |
|-----|---|
| 教科書 | 数研出版「改訂版 高等学校 数学 I」, 数研出版「改訂版 高等学校 数学A」 |
| 副教材 | 数研出版「4STEP 数学 I +A」 |

2. 科目の達成目標

数学I、数学Aの基礎基本を深く確実に理解し、重要な解法を習得する。その上で、身についた知識を問題に合わせて適切に応用できる問題解決能力と、ポイントを押さえた表現力のある答案作成力を高めていく。

3. 学習の計画

| | | 進行計画 | 授業概要 | 考查範囲 | 時間 (予定) |
|---------------|--|--------------------------------|--------------------------------------|---|------------|
| 前期 | 4月 | 数学 I 第1章 数と式 数学 I 第2章 集合と命題 | 式の計算 実数 1次不等式、集合と命題 | 第1回 式の計算 実数 1次不等式 集合と命題 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 | 30 |
| | 5月 | 第3章 2次関数 | 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式 | | |
| | 6月 | | | 第2回 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式 三角比 三角形への応用 | 30 |
| | 7月 | 第4章 図形と計量 | 三角比 三角形への応用 | | |
| | 8月 | | | 第3回 三角比 三角形への応用 データの分析 | 40 |
| 9月 | 第5章 データの分析 | データの分析 | | | |
| 後期 | 10月 | 数学A 第1章 場合の数と確率 | 場合の数 | 第4回 場合の数 確率 | 40 |
| | 11月 | 第1章 場合の数と確率 | 確率 | | |
| | 12月 | 第2章 図形の性質 | 平面図形 空間図形 | 第5回 図形の性質 整数の性質 | 35 |
| | 1月 | 第3章 整数の性質 | 約数と倍数 ユークリッド 整数の性質の活用 | | |
| | 2月 | | | | |
| | 3月 | | | | |
| 評価の 観点・方法 | <p>1 定期考査・実力考査 教科書の例題や応用例題が完全に自分のものとなって正答(解法の再現)が導かれているか。 本質が理解できているか。考え抜く力が育っているか。適切かつ簡潔な表現力で説明ができていないか。 応用がどの程度身についているか。以上の観点で考査問題を作成する。</p> <p>2 評価の方法 試験の結果と日頃の学習状況を評価して、成績をつける。出席と欠席の比率も評価の対象とする。 また、授業に臨む意欲的な姿勢、関心の高さ、真摯かつ謙虚に数学と向き合う態度も評価する。</p> | | | | |
| 学習への 注意・助言 | <p>確かな学力を身につけるため以下の4点を徹底させたい。</p> <p>1 予習復習を毎日やって、自学自習の習慣を身に付ける。</p> <p>2 ただ答えが出ればよいというのではなく、解法や答案の書き方にも注意する。書くことによって考えを整理する。</p> <p>3 反復練習をする中で、面倒な計算も速く正確にすることができる。</p> <p>4 4分らない問題にぶつかってもあきらめずに考え抜くことができる。</p> <p>数学を通して、理解する楽しみや数学の美しさを味わってもらいたい。</p> | | | | |